



市民が主役のまちづくりをさらに進め、 人が大事にされる 暮らしやすい札幌をつくります

う え だ ふ み お
札幌市長 上田 文雄

4月8日の選挙において、多くの市民の皆さんのご支持をいただき、引き続き札幌市長として市政を担わせていただくことになりました。皆さんの期待を直接肌で感じ、身が引き締まる思いでおります。

1期目の4年間、私は「市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街」を施政方針に掲げ、自分たちの街のことは、自分たちで考え、決めていく「市民自治」を訴え続けてきました。

4月1日には「自治基本条例」が施行され、まちづくりの主人公は市民の皆さんであることが明確になりました。皆さんがまちづくりについて主体的に判断し、活動できるように、行政が後押ししていく。これからの市役所は、そのような機能と役割を担うことになります。

そういった意味で、これまでの市役所の仕事の仕方を大きく変えていかなければなりません。まちづくりの判断材料となる情報を積極的に提供し、皆さんとの情報共有をさらに進めていくとともに、まちづくりセンターなどを中心として、皆さんの力が最大限発揮できるようにサポートしていきます。

2期目を迎えるに当たって、私は「人の力」「人の思い」「人を大事にすること」を大切に、札幌というまちの力と、何よりそこに住む人の力を輝かせたいと考えています。人が大事にされる、暮らしやすい札幌をつくるために、一人一人の暮らしや生活の場に重点を置いて、これからも市民の皆さんと共に歩んでいきます。

また、札幌市が直面している課題解決に向けて、中小企業を中心とした経済対策や子育て支援などに早急に着手し、誰もが暮らしやすいと思える「元気なさっぽろ」をつくり上げていきます。

札幌は、先人たちの情熱と努力によって成長を続けてきました。将来の札幌も、市民の皆さんと一緒に作り上げていくものです。今後も皆さんと共に、札幌の魅力を磨き、さらに高め、次の世代に責任を持って引き継いでいくために、これからの4年間、全身全霊をささげて努めてまいります。

市民の皆さん、今後ともよろしく願い申し上げます。